

PR

熊本市 上下水道局だより ◆水道創設90周年◆

熊本市水道創設 90周年 the 90th Anniversary



今までもこれからも、安心して安全おいしい水道水をお届けします。

熊本市動植物園の地下水プールで成長する“水道創設90周年記念キャラクター” マルル

熊本市水道の森を創設しました

創設90周年を記念し、地下水涵養効果のある森林保全事業を始めました。



2014年11月26日、九州森林管理局での調印式 阿蘇郡西原村の「水道の森」

簡易型ミスト装置モニター制度がスタート

環境に優しく、涼をとることができる水道水のミストを、園児の熱中症予防のために市内の保育園などに設置しました。



水道創設90周年記念イベントを開催しました

くまもと秋のお城まつり in 熊本市上下水道局ブース



マルルになりきり、ハイ、ポーズ!



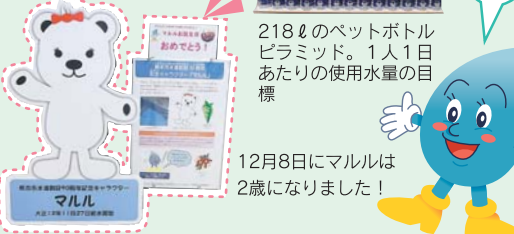
マルルマンホールデザインコンテスト表彰式 清正公もお成り!

熊本市水道創設90周年記念パネル展を開催

創設記念日にあたる2014年11月27日から12月2日まで市役所1階ロビーにおいて、12月3日から12月26日まで上下水道局本館1階ロビーにおいてパネル展を開催しました。



市役所のパネル展風景



12月8日にマルルは2歳になりました!



災害に備えて、さまざまな準備を行っています



11月25日に防災訓練を行いました

熊本市上下水道局は、災害時における市民の皆様のご生活用水およびトイレ機能の確保、速やかな復旧のために毎年訓練を行っています。昨年は11月25日に、マグニチュード7.2、最大震度6強の地震が発生したとの想定で防災訓練を行いました。

1 マンホールからテレビカメラを入れて、下水管の破損状況を確認します **2** 下水管が詰まっている場合は、高圧洗浄車から水を注水して流したり、バキューム車で吸い上げたりします

3 下水道管きよ 応急復旧訓練

4 応急給水訓練

4 応急給水塔から給水タンク積載車へ水道水を移します **5** 給水タンク積載車から配管を伸ばし、仮設の応急給水設備を設置 **6** 蛇口をひねれば、飲料水が確保できる応急給水設備があつという間に完成

6 上水道管路 復旧訓練

災害時の飲料水確保のために緊急貯水槽を作っています



熊本市上下水道局水道整備課 米田 恭子

2014年3月に戸島送水場の調整池(※1)を2池増やしました。この池には、緊急遮断弁があり、震度6弱を感知したら自動的に池の水が流れないように弁が閉まります。当局では、このような災害対策用貯水施設で、災害時に必要な飲料水の1週間分以上、貯水量約6万6000m³(※2)を確保することを目標に整備を進めています。現在、市内全域に23カ所整備し、災害時の貯水量6万1350m³を確保しています。



戸島送水場調整池。タンクはSUS(ステンレス製)で、容量は3000m³(1池あたり1500m³)

※1 配る状態にした水道水を貯めておく施設
※2 大人1人が生命を維持するために必要な水の量は、1日3ℓといわれています。災害発生時から最初の3日間は3ℓ、4日目からは1日20ℓの計算で、**73万人の熊本市民が使用する1週間分の水道水の確保を目標**にしています



緊急遮断弁

古くなった水道管の耐震化を進めています!



熊本市上下水道局計画調整課 田代 陽子

地震が起きたときでも、断水が最小限で収まるように、地震による水道管の被害件数を予測するとともに、病院や避難所など重要施設までの水道水の供給ルートや水道管の老朽度等を考慮し優先順位をつけて、計画的に地震に強い水道管へと入れ替えを行っています。

水道工事において、騒音や振動、交通規制等でご迷惑をおかけするかと思いますが、計画的に水道管の耐震化を進めていくため、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



力が加わって、たわんでも折れたり、継ぎ手が抜けたりしない「ダクタイル鉄管」(写真提供/日本ダクタイル鉄管協会)

下水道管や浄化センター、ポンプ場を強くします!

地震が起きたときに、マンホールから生活排水があふれて公衆衛生の悪化をおこしたり、液状化によりマンホールが浮上して復旧活動等に支障をきたさないよう「熊本市下水道総合地震対策計画(H25~H30)」に基づき、「防災対策」と「減災対策」を進めています。

計画内容	
防災対策	・緊急輸送路や医療施設から浄化センターまでの重要な下水道管の補強、マンホールの浮上防止対策 ・浄化センターやポンプ場の耐震補強
減災対策	・浄化センターやポンプ場の自家発電設備の整備 ・マンホールトイレシステムの整備



マンホール 避難所に設置するマンホールトイレ(イメージ)



熊本市上下水道局 計画調整課 伊佐坂 聡秀

この記事に関するお問い合わせは